

東南アジア、ラオスの平原の暮らしを訪ねてみませんか？

ヴィエンチャン平野の暮らし — 天水田村の多様な環境利用 —

野中健一 = 編

A5版上製253頁 口絵カラー7頁
定価3500円(+税) 2008年3月刊

稲作が年1度なのはなぜ？

集落の水が稲を育てる！ 熱帯モンスーンって雨がが多いの？

河原から塩が採れる？ 森のきのこ・田んぼの雑草はグルメ！

村ってこうやってできるんだ！

アオミドロが食べられるって！

娘が働きに町へ出るわけは？ コオロギはおいしい？

カエルで儲ける！

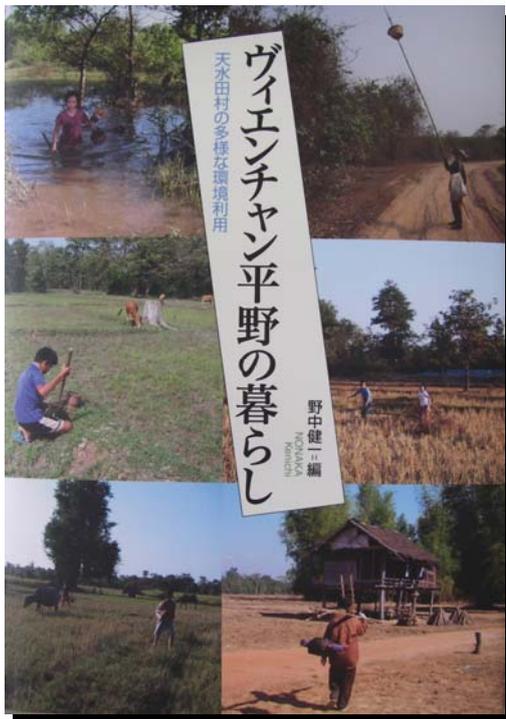
不安定？柔軟？

貧しい？ ゆとり？

のんびり？ したたか？

豊かさって何だろう 生きるってどういうことだろう

動く環境・伝統的な暮らしから新しい世界が見えてきます



- 序章 ヴィエンチャン平野の地域生態とその変動の背景
(野中健一)
- 第1章 ヴィエンチャン平野の天水田農業を取り巻く自然環境
(小野映介)
- 第2章 ヴィエンチャン平野の集落—移住による村づくり
(加藤久美子、池口明子、イサラ・ヤナタン)
- 第3章 天水田稲作の今とこれから—灌漑から取り残された村における稲作の生存戦略
(宮川修一、足達慶尚、瀬古万木)
- 第4章 天水田稲作の水—水質の視点から
(竹中千里、富岡利恵)
- 第5章 ヴィエンチャン平野の伝統的製塩
(加藤久美子、イサラ・ヤナタン)
- 第6章 ヴィエンチャン平野の食用植物・菌類資源の多様性
(齋藤暖生、小坂康之、足達慶尚)
- 第7章 生き物を育む水田とその利用—
(野中健一、足達慶尚、板橋紀人、センドウアン・シビライ、ソムキット・ブリアム)
- 第8章 魚類とサライの恵み—水域自然資源利用の多様性
(鮫坂哲朗、池口明子)
- 第9章 ヴィエンチャンへの工場進出と村の生活
(西村雄一郎、岡本耕平)
- 終章 ヴィエンチャン平野の多様な資源利用から考える環境利用の可能性
(野中健一)

東南アジアの内陸の国ラオス。緑と水田の広がる平野の暮らしは一見のんびりしているかのようにみえる。だが、人々は、めまぐるしく変わる自然・社会に実に巧みに適応してきた。本書は、ヴィエンチャン平野の村落の暮らしを、農学、林学、生態学、環境科学、歴史学、人類学、地理学など総合的な視角から探り、その環境のダイナミズムと利用の多彩さを克明に明らかにする。そして、土地生産を多元的にとらえる見方を提示する。グローバル化の進む現代社会だからこそ求められている、人がさまざまな地域に生きていく術、資源を活用し環境の持続をはかる方策へのオルタナティブな見方を提案する。村での長期のフィールドワークに基づく実証研究の学際的専門書。

めこん

株式会社めこん 〒113-0033 東京都文京区本郷3-7-1
Tel: 03-3815-1688 Fax: 03-3815-1810 E-mail: mekong@bolero.plala.or.jp
http://www.mekong-publishing.com/

